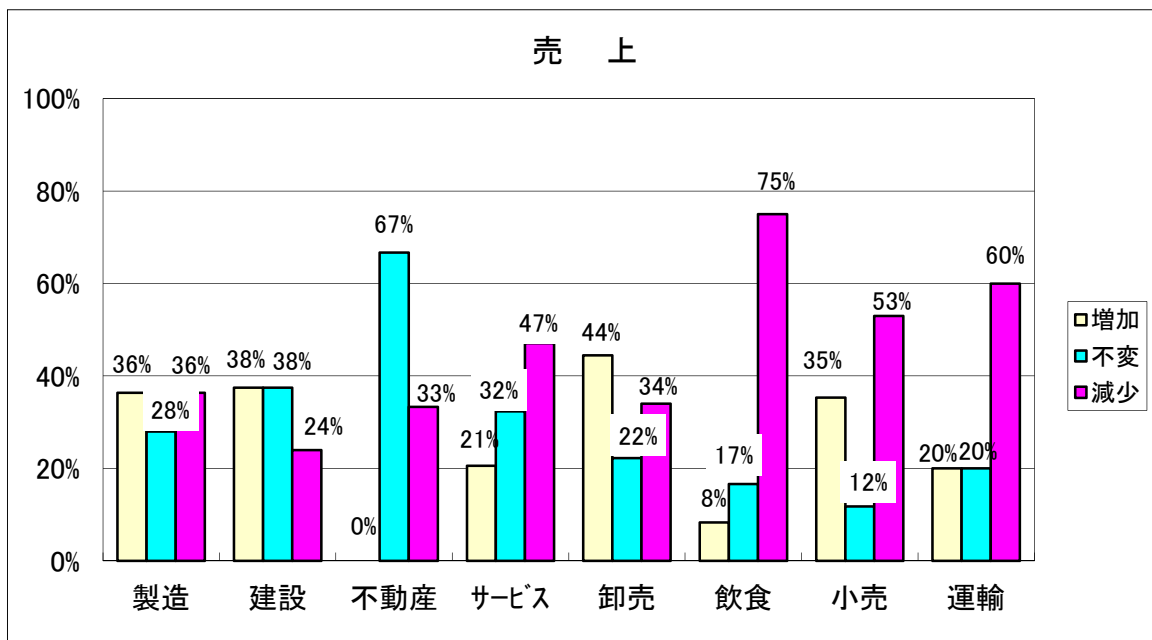


調査1 平成24年7月～12月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と及び平成25年上期の見通しについて比較表示してある。

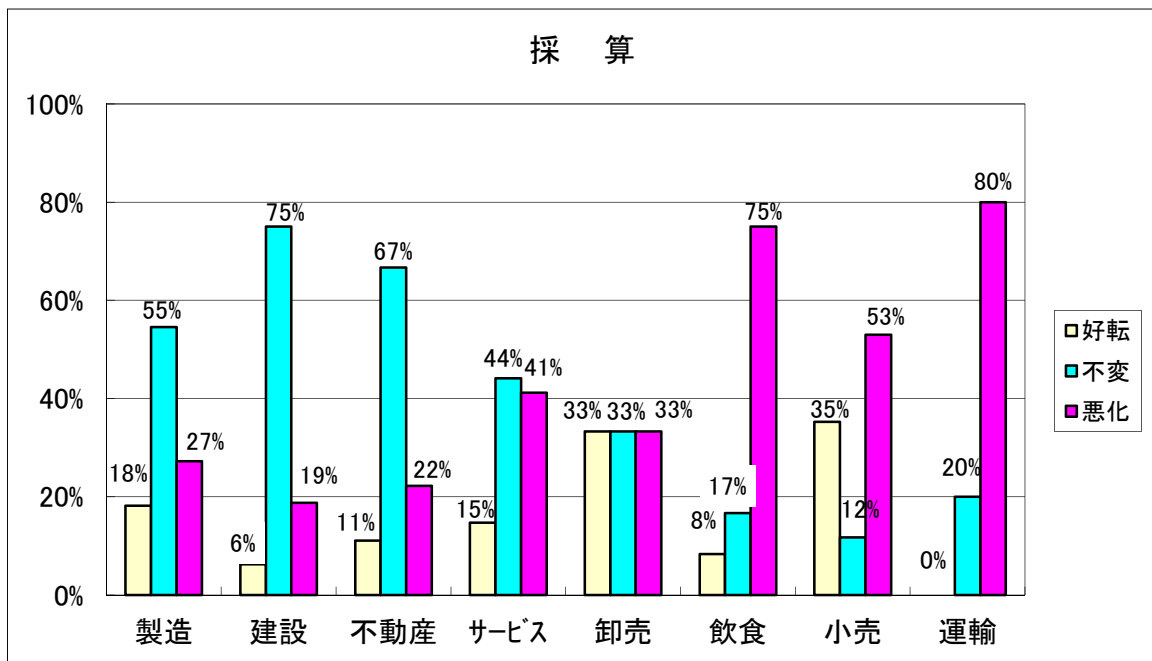
①売上について

昨年同時期に比べて増加傾向にあるのは卸売業(44%)、減少傾向なのが飲食業(75%)運輸業(60%)であった。半年前の調査と比べて売上増加の回答が増えたのが建設業(23%→38%)、小売業(24%→35%)であった。売上減少の傾向が特に顕著なのが飲食業(56%→75%)であった。



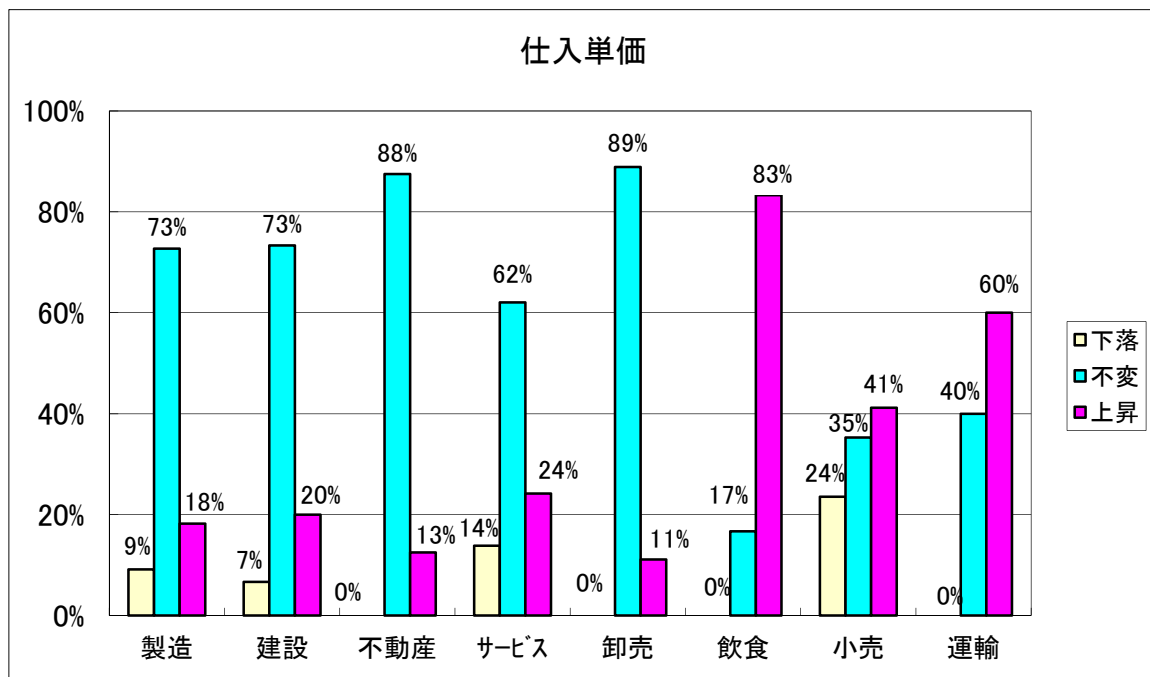
②採算について

全体で見ると、「好転」16% (前回14%)、「不変」40% (前回46%)、「悪化」44% (前回40%)であった。半年前の調査と比べると業種別では、卸売業、小売業が若干好転の傾向がみられ、飲食業、運輸業で悪化傾向が大きくなっている。



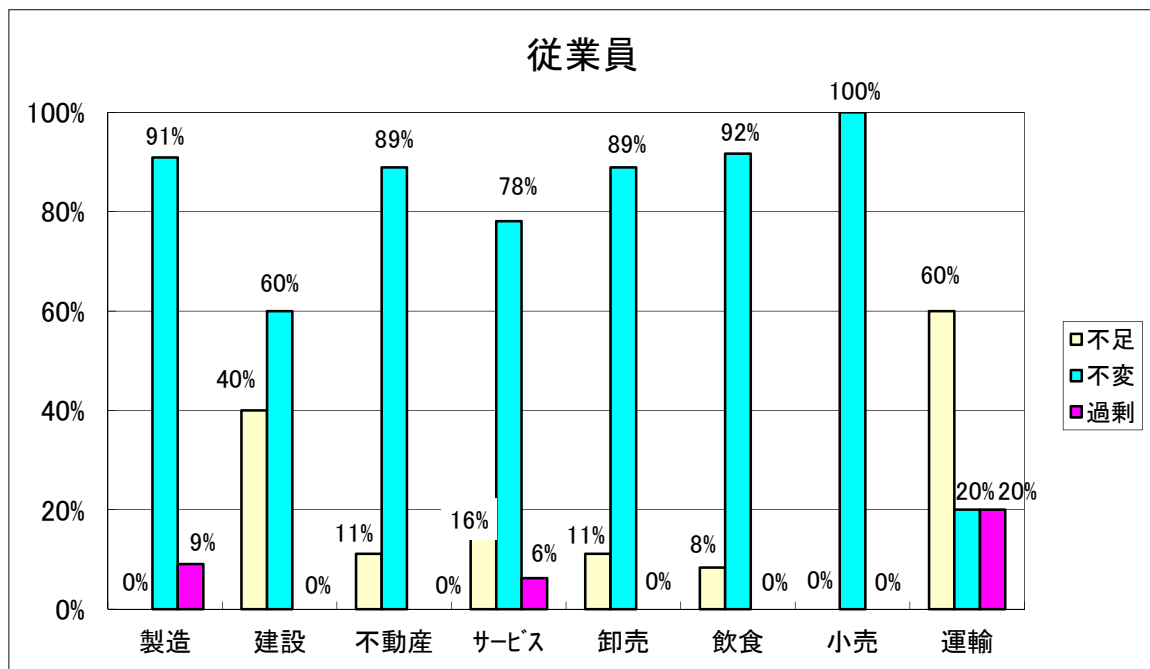
③仕入単価について

仕入単価で、「上昇」に大きく変動しているのが飲食業(83%)で前回調査よりも27%アップしている。続いて、運輸業(60%)小売業(41%)となっている。

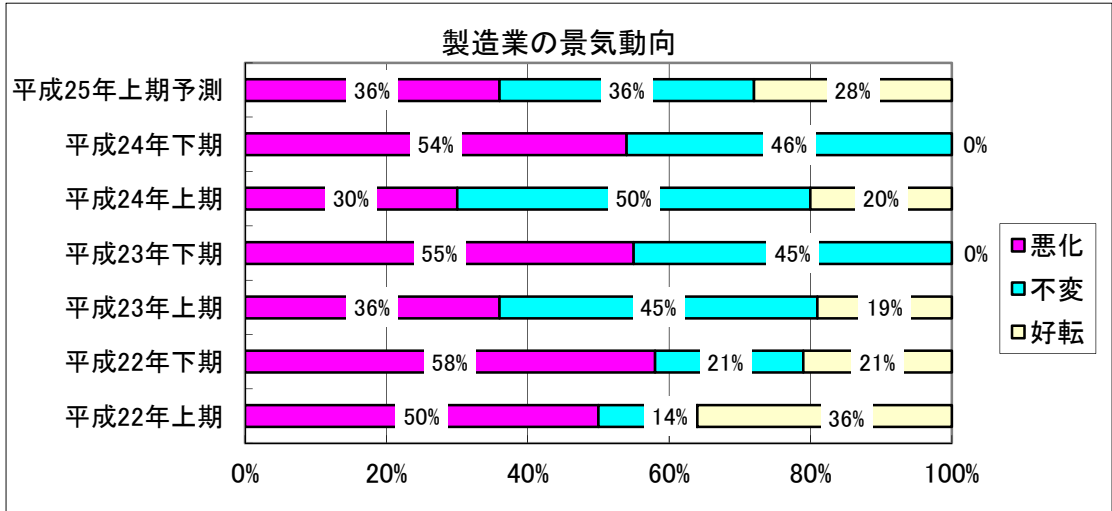


④従業員について

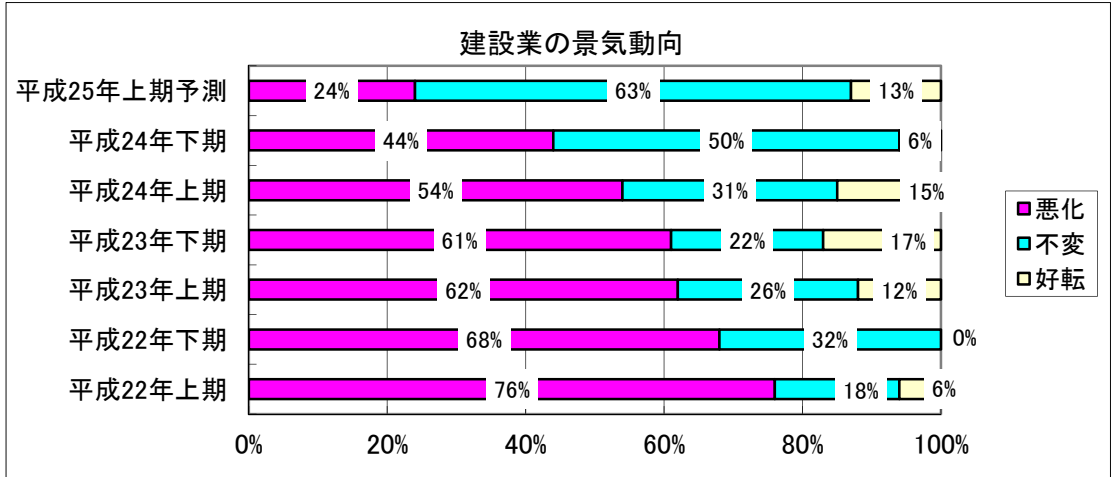
全体で見ると「不変」と回答が多いなか、「不足」と回答が多いのが運輸業(60%)、建設業(40%)となっている。



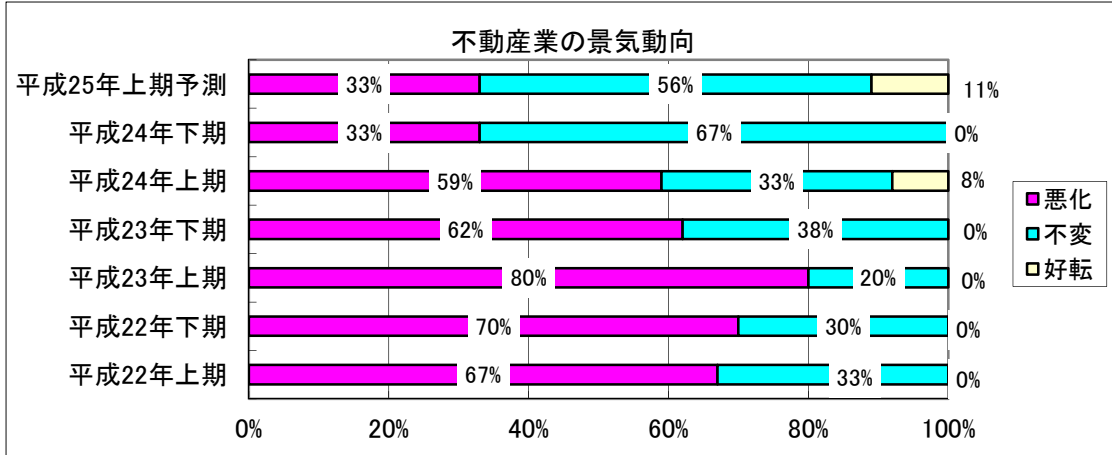
⑤業界の景気動向について



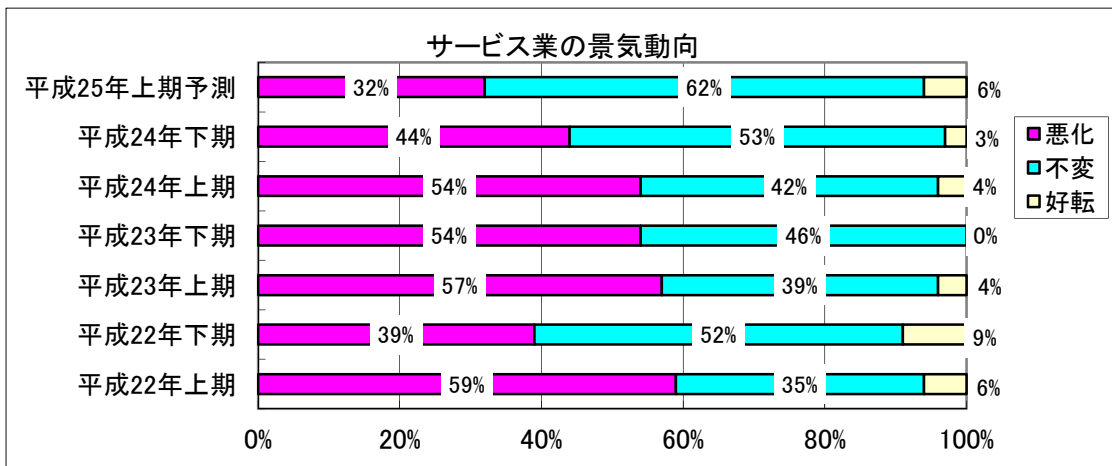
■製造業
平成24年下期では、悪化が54%で半数以上の企業が回答している。しかし、平成25年上期の見通しでは、28%の企業が「好転」になると回答し、若干明るい兆しがみられる。



■建設業
平成24年下期では、「好転」が6%、「不変」が50%で「悪化」が44%であり、今年の上期の見通しでは「好転」が13%に増え、「悪化」は24%と大きく減少し、業界の景気回復は感じられる。



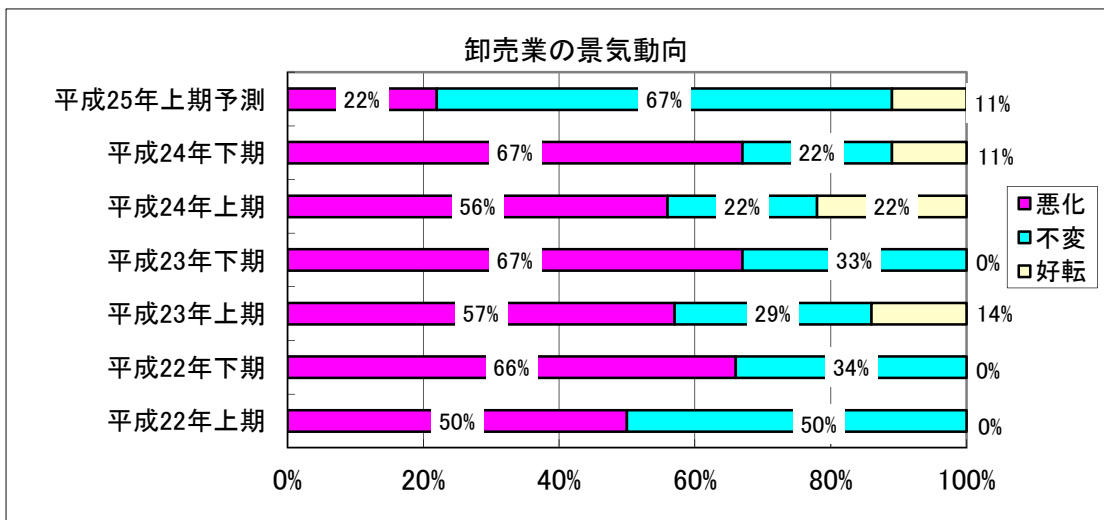
■不動産業
平成24年下期は、「悪化」が33%と前回調査よりも減少しているが、「好転」がなかった。今年の上期予測では、11%の「好転」が予測されているものの、「悪化」が33%と依然厳しい状況が感じられる。



■サービス業
平成24年下期では「好転」が4%、「不変」が53%となり、前回調査より若干好転になっている。この傾向は、平成25年上期の景気予測にも表れている。

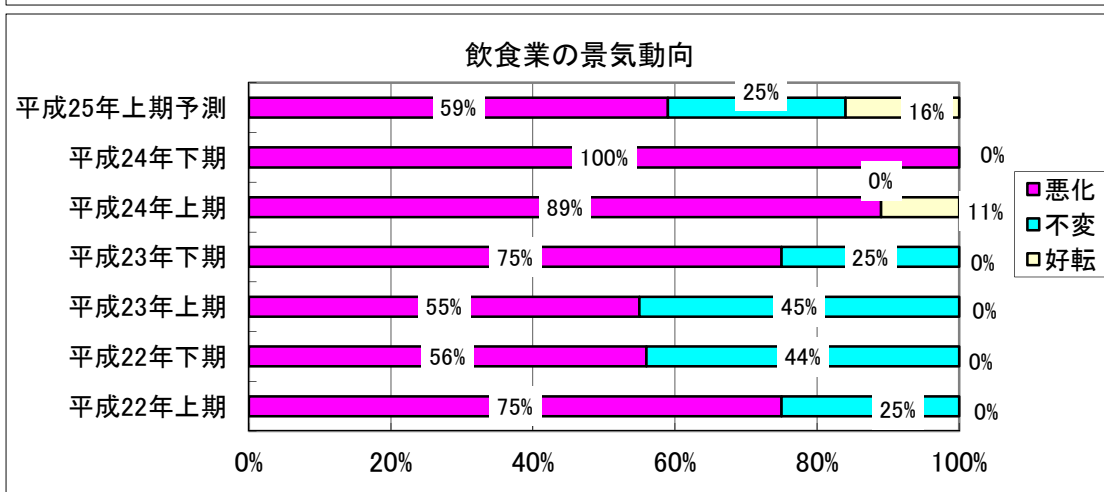
■卸売業

平成24年下期は「悪化」が67%と前回調査よりも悪化している。「売上」の推移をみると増加していたが、業界の景気は依然厳しい状況であった。今年上期の予測では「悪化」は22%と大きく減少しており、景気の好転が期待される。



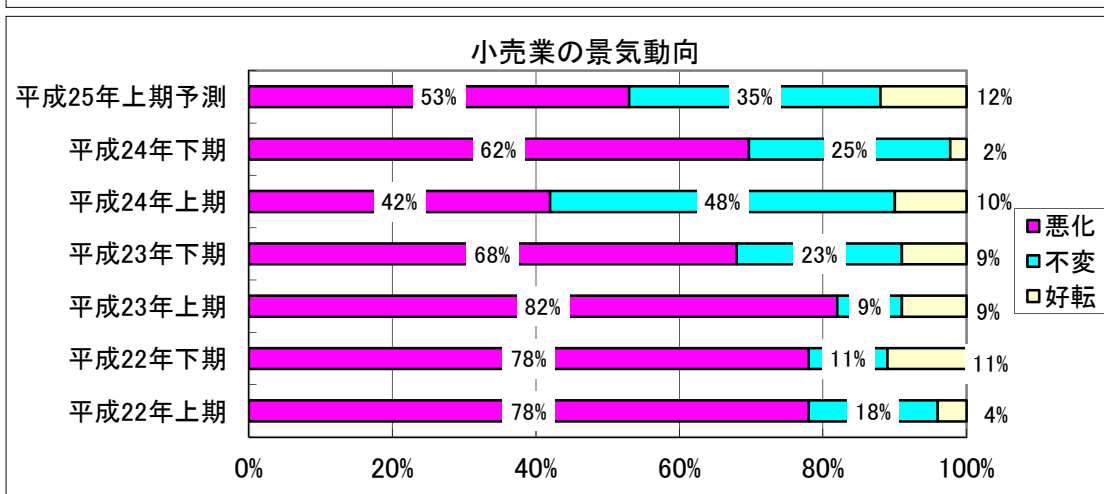
■飲食業

平成24年下期では「悪化」が100%となっており、極めて厳しい結果となった。「売上」「採算」でも悪化傾向にあり業界の景気は低迷している。今年の上期見通しでは「好転」が16%、「不変」が25%、「悪化」が59%となった。



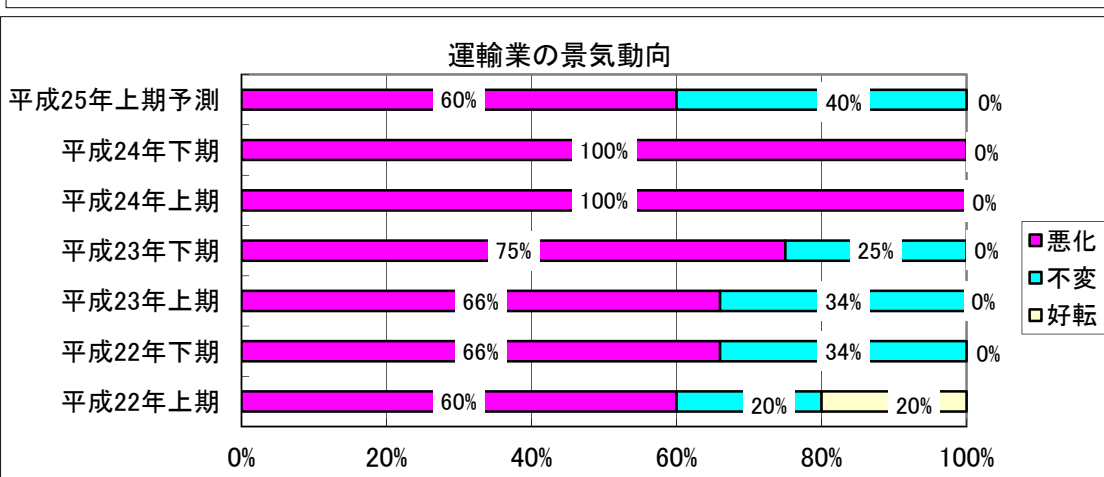
■小売業

平成24年度下期は「悪化」が62%と前回調査よりも20%アップし、景況感は悪化した。上期予測では、「好転」が12%と上昇しているが、半数以上が「悪化」と予測しており、依然厳しい見通しである。



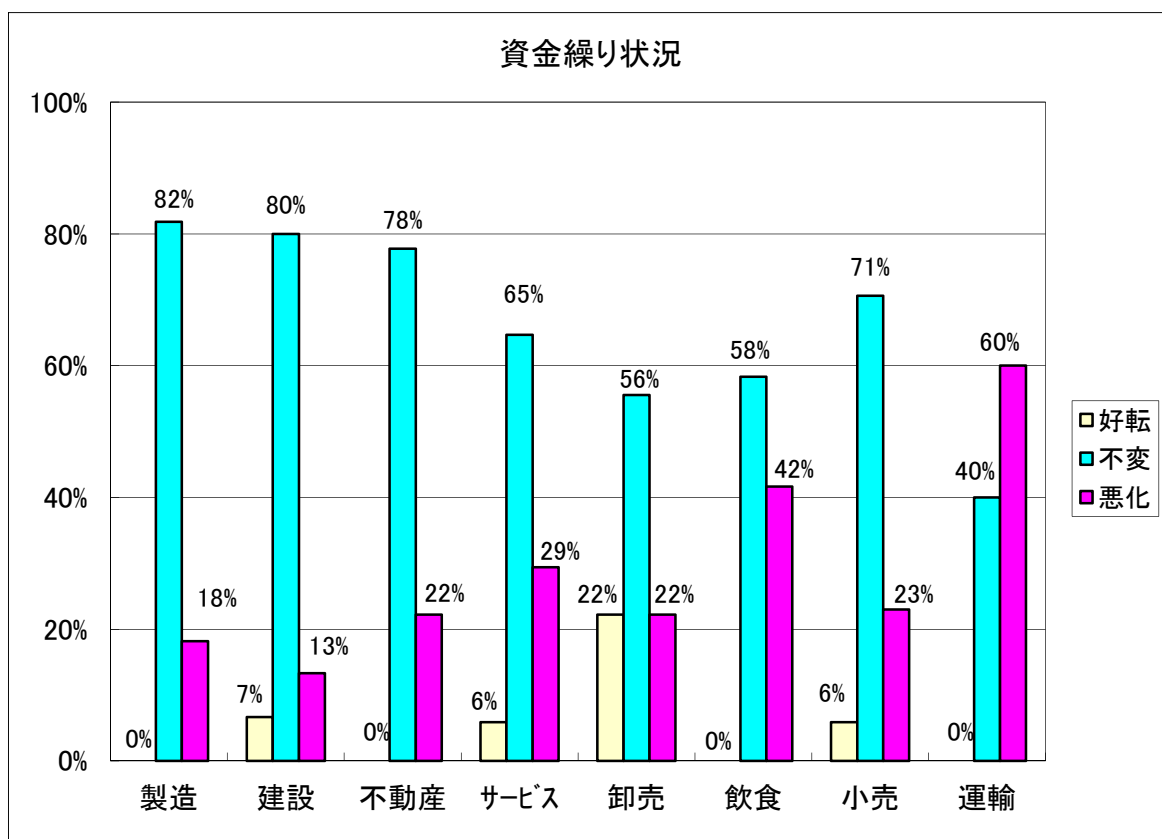
■運輸業

平成24年下期は、前回調査に続いて「悪化」が100%となっており、業界の景気は非常に厳しい状況になっている。



⑥資金繰りについて

全体で見ると「不変」が66%（前回62%）、「悪化」が29%（前回25%）、「好転」が5%（前回13%）と回答している。業種で見ると運輸業で資金繰りの「悪化」が60%となっている。



⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が45%（前回58%）、「融資無し」が29%（前回22%）、「厳しい」が12%（前回11%）、「緩やか」が14%（前回9%）であった。業種で見ると、飲食業の33%が厳しいと回答している。

